

日本史 B	報告課題第 2 回 解説	年	組	氏名	
-------	--------------	---	---	----	--

◎教科書『詳説日本史 B』 p34～67をしっかりと読みましょう。

また、以下に書かれている学習内容の解説を読み、理解を深めましょう。

〈ポイント〉 報告課題は教科書からの抜きだし問題が多くあります。

報告課題の文章と教科書の文章を照らし合わせながら問題を解き進めましょう。

### 1. 「律令国家の成立」

律令国家とは、律令制度による政治のしくみを用いる国家のことをいいます。律とは、現在でいう刑法です。令とは、行政組織・官吏の勤務規定や人民の租税・労役などの規定です。

### 2. 「奈良時代～平安時代初期」

#### ○奈良時代

710年、元明天皇は都を奈良盆地の平城京へと遷都します。この時代を奈良時代といいます。都は中央を南北に走る朱雀大路で東の左京と西の右京にわけられ、北部中央には平城宮が位置します。人口は約10万人といわれています。

#### ○平安時代

794年、桓武天皇は都を平安京へと遷都しました。この時代を平安時代といいます。桓武天皇は、天皇の権威を確立し、地方政治を改革するなど積極的に政治改革を進めました。

### 3. 「飛鳥～弘仁・貞観文化」

#### ○飛鳥文化

7世紀前半に、王族などにより広められた仏教中心の文化を飛鳥文化といいます。飛鳥文化を代表する美術作品としては、法隆寺金堂釈迦三尊像や中宮寺半跏思惟像などがあげられます。

#### ○弘仁・貞観文化

平安遷都から9世紀末頃までの文化を弘仁・貞観文化といいます。平安京において貴族を中心として発展しました。